

# 県央・湘南の 環境と共生する都市づくり



No. 34

NEWS ○ 2013.3

● 新幹線新駅の実現をめざす、環境共生の都市づくり通信 ●

**NEWS** ツインシティの早期整備をめざしています！

P2

平成24年度「夢はこぶ新幹線・私たちの未来のまち」絵画コンクール

P3

「環境と共生する都市づくりフォーラム」を開催しました

P4

講演会「鉄道ネットワークと明日の神奈川」を開催しました

P5

(仮称)湘南台寒川線の整備に向け、取組みを進めています

P6

平成24年度「夢はこぶ新幹線・私たちの未来のまち」絵画コンクール

神奈川県知事賞受賞作品



高学年の部 高橋 亜門さん (平塚市立吉沢小学校5年)



低学年の部 片岡 日和さん (寒川町立南小学校2年)



中学年の部 田原 優吏さん (平塚市立港小学校4年)

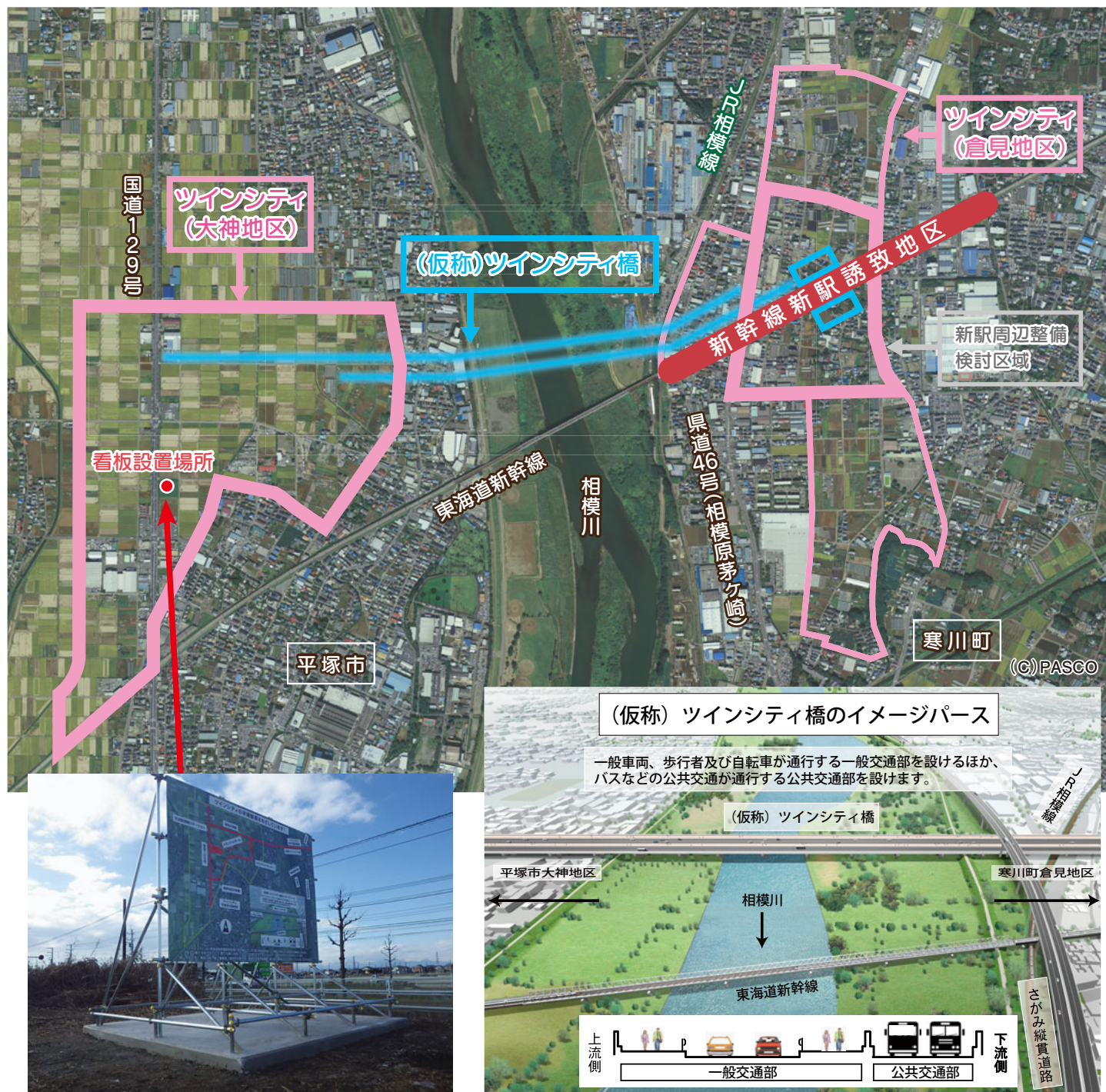


神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

神奈川県、相模原市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、厚木市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、県市長会、県町村会、県商工会議所連合会、県商工会連合会

# ツインシティの早期整備をめざしています！

「ツインシティ」は、東海道新幹線新駅誘致に取り組んでいる「寒川町倉見地区」と、相模川を挟んだ「平塚市大神地区」からなる双子の新たなまちのことで、新たな橋「(仮称) ツインシティ橋」を架けることにより、一体的なまちづくりをめざしています。



## (仮称) ツインシティ橋のイメージパース

一般車両、歩行者及び自転車が通行する一般交通部を設けるほか、バスなどの公共交通が通行する公共交通部を設けます。

### (仮称) ツインシティ橋

平塚市大神地区

寒川町倉見地区

相模川

東海道新幹線

上流側

一般交通部

公共交通部

さがみ縦貫道路

平塚市では、ツインシティ大神地区まちづくり計画が市民からの意見募集を経て、平成24年4月に策定され、関係機関との協議や土地区画整理事業に向けた調整が進められています。また、より多くの方々に事業を知っていただくため、計画区域内の国道129号沿いにPR看板を設置しました。

寒川町では、平成24年8～12月にかけてまちづくりに関する意見交換会が開催され、まちづくり計画案の作成に向けて取組みが進められています。

ツインシティの早期整備をめざし、都市計画決定に向け、引き続き取組みを進めてまいります。

# 平成24年度「夢はこぶ新幹線・私たちの未来のまち」絵画コンクール

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会では、新幹線新駅の誘致について、より幅広く浸透を図るため、ツインシティの地元である平塚市・寒川町の小学生を対象に、絵画コンクールを実施しています。

平成24年度は「夢はこぶ新幹線・私たちの未来のまち」をテーマに、27校から618作品の応募がありました。

応募作品の中から、入賞作品12点を表彰しましたので、ご紹介します。(県知事賞は表紙で紹介)

## 平塚市長賞



低学年の部 中谷 碧さん  
(平塚市立港小学校2年)



中学年の部 松橋 拓未さん  
(平塚市立港小学校3年)



高学年の部 樋路 萌花さん  
(平塚市立八幡小学校5年)

## 寒川町長賞



低学年の部 三井 颯太さん  
(寒川町立小谷小学校2年)



中学年の部 大川 達也さん  
(寒川町立小谷小学校3年)



高学年の部 仁禮 リサさん  
(寒川町立一之宮小学校6年)

## ツインシティ賞



低学年の部 浅倉 漣さん  
(平塚市立相模小学校1年)



中学年の部 後藤 莉子さん  
(寒川町立寒川小学校4年)



高学年の部 矢野 遥さん  
(寒川町立南小学校5年)

## 応募作品の展示会・入賞者の表彰式を行いました

### 平塚市美術館 (H24.11.1~4)



### 寒川町民センター (H24.11.20~28)



# 「環境と共生する都市づくりフォーラム」を開催しました

## 「環境と共生するまちづくりの今後の展開」～地域資源を活用した魅力あるまちづくり～

ツインシティ研究パートナー連絡会と神奈川県との共催で、平成24年度「環境と共生する都市づくりフォーラム」を開催しましたので、概要をご紹介します。

<b>日 時</b>	平成25年2月13日（水） 14：00～16：30
<b>会 場</b>	産業貿易センタービル 720号室
<b>主 催</b>	ツインシティ研究パートナー連絡会、神奈川県
<b>参 加 者</b>	99名
<b>プログラム</b>	<b>主催者あいさつ</b> ツインシティ研究パートナー連絡会幹事 ランドマーク株式会社 山本 芳明 氏 神奈川県 県土整備局 環境共生都市部長 浅羽 義里 <b>事例紹介</b> ソーラーパネル輝く光が丘エコタウン創造事業の取組みについて 大和ハウス工業株式会社 住宅事業推進部 東京デザイン事務所 井野 善久 氏 <b>基調講演</b> “ツインシティ”「環境共生×環境創造」のまちづくり 産業能率大学 情報マネジメント学部 教授 斉藤 進 氏

### 事例紹介

環境共生のまちづくりの先進事例として、「光が丘エコタウン創造事業」の取組み紹介を行った。

#### 【事業概要】

所在地：相模原市中央区光が丘2丁目（JR横浜線淵野辺駅から約2km）

県立相模原工業高校の跡地利活用として、昨年3月に県企業庁がエコタウン創造事業として事業提案募集を行い、昨年9月に事業者として大和ハウス工業株式会社が選定された。約3.5haの敷地に、太陽光発電パネル、HEMS、蓄電池等を標準搭載したエネルギー自立型の戸建て住宅128戸と、周辺環境とも調和するまちづくりを目指し、既存樹木を活かした公園、集会所、商業施設などを計画。今年の2月4日に開発許可を取得し、現在造成工事中。



光が丘エコタウン イメージ図

### 基調講演

#### 【これまでの経緯と社会情勢の変化などを踏まえて】

県央・湘南都市圏における環境共生の都市づくりやツインシティの検討が始まってから、14、5年が経過している。この間の社会情勢やまちづくりに対する視点の変化、環境共生にかかる技術の飛躍的な進歩を踏まえ、今後の展開を考えるにあたり、「地域の資源、魅力あるまち」という視点を入れ、改めて考え直したい。この場合、これまでの「環境共生」を前提にしながら、新たに「環境創造」という発想を重ね合わせていく必要があると考える。



挨拶：神奈川県  
浅羽環境共生都市部長



挨拶：パートナー連絡会  
ランドマーク(株)山本氏

#### 【今後の展開を考える4つの視点】

今後の展開を考えるにあたり、求められる視点として、4つほどまとめた。

1. 地域の固有の資源を、守り、活かし、歴史を継承し、地域の固有の生活文化を見直しながらかちづくりを進めていくことが大事である。
2. かつてのニュータウンの経験を踏まえ、つくりっぱなしではなく、まちを経営し、維持・管理するという発想を重視したい。そのため、良質な都市の生活環境を創出し、維持することを目的に、つくった後、時間をかけて育てていく、エリアマネジメントという都市づくりが重要である。
3. 県央・湘南都市圏は、「湘南海岸、相模川、丹沢大山」があり、海、川、山といった、骨格となる自然軸に囲まれた環境都市づくりが可能である。改めて、ツインシティのまちづくりと自然軸の圏域との連携について明確にしながら、協働のまちづくりをしていく必要がある。
4. 「癒しと健康、四季を感じ、環境活動の盛んな生活の場づくり」など、県央・湘南都市圏では、新たな生活スタイルを自分自身の手で提案、実現できるまちづくりを進めていく必要がある。



事例紹介：  
大和ハウス工業(株)  
井野氏



基調講演：  
産業能率大学  
斉藤教授

#### 【新たな提案「環境共生×環境創造」の都市イメージ】

低炭素都市づくりに加え、これまでも十分検討してきてはいるが、地域特性を活かした都市像を改めて考えてみたい。そのため「環境共生」と「環境創造」を目指し、こうした都市像を実現するため、次の5つのまちづくりテーマを提案したい。

1. “楽しく巡り、心地よく移動できる” まち
2. “交流が生まれる” まち
3. “誰もがつながる” まち
4. “生活スタイルが選べる” まち
5. “自然と歴史がいきづく美しい” まち

#### 【まちづくりの実現に向けて】

これからの社会に対応する持続可能なまちづくりを実現するため、地域経営管理の仕組み（エリアマネジメント）の導入を求めたい。また、良質なまちづくり環境を誘導するガイドラインが必要であり、これには協働のまちづくりとして、各まちづくり主体が協力し、責任を持ちながら、環境共創（「共生と創造」）のまちづくりに取り組むことを求めたい。



フォーラム会場の様子

# 講演会「鉄道ネットワークと明日の神奈川」を開催しました

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進同盟会は、県央・湘南地域の鉄道ネットワークの整備に向けて、リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会・相模線複線化等促進期成同盟会と共催で、「鉄道ネットワークと明日の神奈川」をテーマとして講演会を開催しましたので、概要をご紹介します。

日時	平成25年1月24日(木) 13:30~15:30
会場	オークラフロンティアホテル海老名
主催	神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会・リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会・相模線複線化等促進期成同盟会
参加者	250名
プログラム	主催者あいさつ 神奈川県県土整備局長 高村 栄二 同盟会活動紹介 リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会事務局 講演 日本大学理工学部 教授 岸井 隆幸氏

## 講演概要

### 【なぜ今、鉄道ネットワークの議論なのか】

東京圏の鉄道計画の枠組みは、国の運輸政策審議会で混雑緩和、速達性向上、空港・新幹線へのアクセスといった観点で議論され、2000年に18号答申として示されている。神奈川県周辺では、横浜市営地下鉄グリーンラインや東部方面線の新設、小田急多摩線や多摩都市モノレールの延伸などが含まれている。2015年までに開業が適当とされた路線は、約81%の達成状況であり、平均的な混雑率はかなり改善されたが、依然ピーク時には厳しい混雑箇所が多数残っている。答申は2015年が目標年次の計画であるため、今、これから先の鉄道ネットワークをどう維持・更新し、さらに強化していくか、新しい計画をどう考えるべきかが問われている。

### 【どこへ向かって進むべきか】

世界では大半の鉄道が赤字であるため、税金を大幅に投入している。しかし、日本ではそうではなく、民間企業が料金を回収することで運営しているため、その点を踏まえて鉄道ネットワークを議論する必要がある。

また、世界を見ると、アジアの国々が伸びており、相対的に日本の国際競争力は落ちてきている。そのため、アジアでの位置を上げるべく、都心アクセスに優れた羽田空港を拡張するとともにその国際化を進めている。加えて東京都では、アジアヘッドクォーター特区での企業誘致や、大手町・渋谷の再開発を進めている。都市間競争の視点が不可欠である。

### 【まずは周りを理解する】

リニア中央新幹線が東京-名古屋-大阪を1時間で結ぶことで、日本の約半分の人口がつながることになり、巨大都市圏が生まれる。その点で、品川と相模原は大化けする可能性を秘めている。

品川は羽田空港から近いなど、交通アクセスが非常に優れている。また、近接する車両基地を縮小して再開発し、新駅を建設する計画が進められている。リニアの神奈川県駅が相模原周辺にできるとすると、最先端企業や大学が集



積している多摩地域とのつながりが生まれる。相模原にも津久井湖などの自然や米軍の補給廠などの拠点があり、今後圏央道が完成し、新しい交通拠点ができることで、巨大都市圏やアジアのマーケットに近くなり、大きな強みとなる。

### 【これから何をすべきか】

神奈川では、まず横浜都心の強化が重要である。横浜の一番の利点は空港や港から近いことであり、都市観光ができる素晴らしい場所である。また、鉄道ネットワークや鉄道とバスとの連携を考え、横浜と高尾山・湘南・箱根などの後背地とをうまく連動させることが重要である。リニアの神奈川県駅については、首都圏の西側のゲートとなることから、多摩や埼玉の資源をうまく利用するために、横浜線や相模線、圏央道により、南北の結束を強めることが必要である。

これからは社会とのつながりを地域で実現する時代になるため、鉄道が集まる駅周辺で、いかに社会とのつながりを生み出す場をつくるかが大きなテーマとなる。また、今後は超高齢社会となることから、鉄道が密であれば良いというだけでなく、近場の鉄道結節点にどうやって行くかという視点も考えなければならぬ。

さらに、渋谷が良い例だが、街に魅力があれば、魅力的な人が集まり、さらに人が集まってくる。今はインターネットが普及し、自宅でも何でも見ることができ、仲間とつながりを持つこともできるが、これからは「自分で体感できる場所」が求められるようになる。ディズニーランドが良い例であり、常に新しいアトラクションを仕組み、新しい体感ができる空間をつくることで、良い結果を生み出している。

パリは150年前にシンボルとなる道路をつくり、街を変えながら豊かな都市空間をつくり上げた。現在の日本の街は、戦後、日本がどん底のときに先人たちがつくり上げ、我々に残してくれたものである。地域のプロジェクトは長年に渡るもので、我々が生きている間にその恩恵を受けることはまずできない。私たちが、自分の子供や孫の時代にはどのような社会が望ましいか、が問われていると考え、次世代に何かを残していく責務がある。ここにお集まりの皆さんが前を走って、道をつけ、準備をしていけば、街をより良いものに変えていくことができるだろう。

## 《会場の様子》



## 《パネル展示》

○県央・湘南地域における鉄道ネットワーク整備の取り組みを紹介しました。



# (仮称)湘南台寒川線の整備に向け、取組みを進めています

(仮称)湘南台寒川線は、藤沢市湘南台方面とさがみ縦貫道路(圏央道)寒川北ICを結ぶ広域的な道路ネットワークを形成する路線です。平成26年度までにさがみ縦貫道路、平成32年度までに新東名高速道路の開通がそれぞれ予定される中、さがみ縦貫道路以東の東西軸として、この路線の重要性が非常に高まっており、新幹線新駅の受け皿となるツインシティと周辺地域のアクセス強化などにも寄与します。

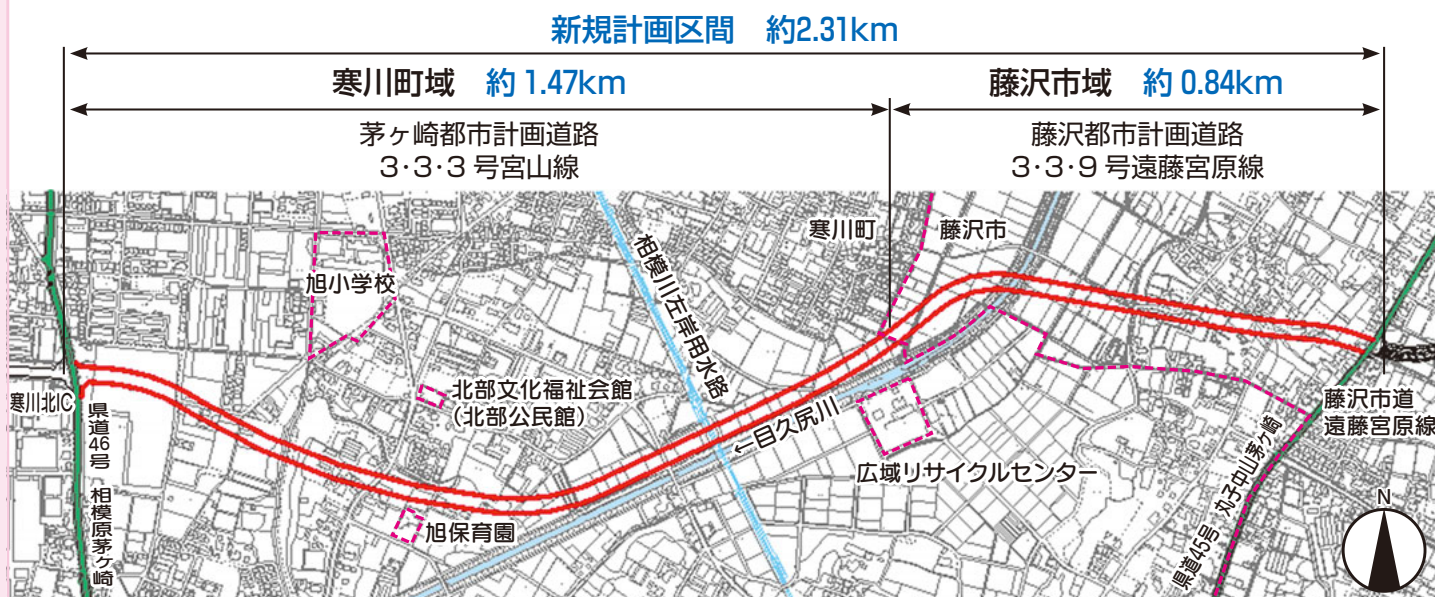
今回、新たにルートを決め、新規に計画する区間は、県道45号(丸子中山茅ヶ崎)から寒川北ICまでの約2.31km(下図参照)です。現在、藤沢市と寒川町が、平成25年3月の都市計画決定後、県では、整備に向け、本格調査に着手する取組みを進めています。

## ○計画概要

- ・藤沢市宮原～寒川町宮山(約2.31km)
- ・幅員25m(4車線)

## ○道路整備の目的

- ・さがみ縦貫道路寒川北ICへのアクセス強化
- ・地域の交流・連携の強化、ツインシティへのアクセス強化
- ・周辺地域の産業、経済の活性化



## 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会について

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会(平成8年5月発足)では、寒川町倉見地区への東海道新幹線新駅の誘致活動を行っています。同盟会を構成する県市町の窓口は、次のとおりです。

県・市町担当窓口			厚木市	政策部企画政策課	046-223-1511(代)
神奈川県	県土整備局環境共生都市部環境共生都市整備課	045-210-6038(直)	伊勢原市	都市部都市総務課	0463-94-4711(代)
相模原市	都市建設局まちづくり計画部交通政策課	042-754-1111(代)	海老名市	まちづくり部駅周辺対策課	046-231-2111(代)
平塚市	まちづくり事業部まちづくり事業課	0463-23-1111(代)	座間市	都市部都市計画課	046-255-1111(代)
藤沢市	計画建築部都市計画課	0466-25-1111(代)	綾瀬市	企画部企画課	0467-77-1111(代)
茅ヶ崎市	都市部都市政策課	0467-82-1111(代)	寒川町	都市建設部新幹線新駅対策課	0467-74-1111(代)

お問い合わせ先：神奈川県 県土整備局 環境共生都市部 環境共生都市整備課

電話045-210-6038 FAX045-210-8879 E-mail(下記ホームページの「問合せ先」をクリックして「問合せフォーム」をご利用ください)

詳細については、期成同盟会のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p19860.html>

新幹線新駅同盟会

検索